

京都府自殺対策推進計画に基づく
自殺対策の実施状況

目 次

I 京都府自殺対策推進計画に基づく施策の実施状況（概要）	1
1 自殺の問題に関する理解の促進と取組の推進	1
2 自殺の背景となる要因の軽減のための取組の推進	4
3 自殺の原因・背景に対応した支援体制等の整備	6
II 京都府自殺対策推進計画に基づく施策の実施状況	8
1 自殺の問題に関する理解の促進と取組の推進	8
(1) 府民の理解の促進	8
○ 「京都いのちの日」を中心とした自殺の問題に関する理解の促進	
○ 教育を通じた自殺の問題に関する理解促進の取組	
(2) 自殺対策関係団体等の活動に対する支援	10
2 自殺の背景となる要因の軽減のための取組の推進	11
(1) 人材養成	11
○ 職域及び学校における人材養成	
○ 地域における人材養成	
○ 医療等の専門領域に対応した資質の向上	
(2) 職域、学校、地域における体制整備	12
○ 職域における体制整備	
○ 学校における体制整備	
○ 地域における体制整備	
○ 様々な悩みを和らげる「居場所」づくりの推進	
(3) 医療提供体制の整備	18
3 自殺の原因・背景に対応した支援体制等の整備	19
(1) 連携体制の整備	19
○ 「京のいのち支え隊」のネットワークを活用した支援体制の整備・充実	
○ 地域のネットワークの構築	
○ 様々な支援体制等との連携	
(2) 自殺発生の危機対応	20
(3) 自殺未遂者に対する支援	20
(4) 自死遺族等に対する支援	20

I 京都府自殺対策推進計画に基づく施策の実施状況（概要）

1 自殺の問題に関する理解の促進と取組の推進

(1) 府民の理解の促進

- 京都いのちの日シンポジウムの開催をはじめとする自殺対策強化月間における集中的な広報啓発活動等を実施し、府民の自殺の問題に関する関心と理解を深める取組を実施した。
(重点)

○ 京都いのちの日シンポジウム

<平成29年度実績>

実施日	内容	参加者数
平成30年3月1日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ○基調講演：岸見 一郎 氏（哲学者） 「生きづらさからの脱却」 ○パネルディスカッション 岸見 一郎氏 大学コンソーシアム京都の「若者と自殺～いのちのリレー講座～」を受講している大学生 河瀬 雅紀 氏（京都府自殺対策推進協議会会長） 	170名

<平成30年度>

平成31年3月1日(金)開催予定

○ 京都いのちの日関連事業

<平成29年度実績：京都いのちの日リレー講座>

	実施日	主催者	内容
1	平成30年3月3日(土)	京丹波町	こころの健康について
2	平成30年3月4日(日)	与謝野町	自殺予防啓発映画上映会
3	平成30年3月4日(日)	京都いのちの電話	公開講演
4	平成30年3月7日(水)	長岡京市	ゲートキーパーフォローアップ講座
5	平成30年3月9日(金)	京都府精神保健福祉総合センター	アルコール依存症セミナー
6	平成30年3月9日(金)	中丹広域振興局	中丹こころの健康セミナー
7	平成30年3月10日(土)	京田辺市	ストレスとの上手な付き合い方
8	平成30年3月10日(土)	京都府	ゲートキーパーステップアップ研修
9	平成30年3月11日(日)	京都自死・自殺相談センター	聴き方のおけいこ
10	平成30年3月15日(木)	山城北保健所 山城北保健所綴喜分室	平成29年度山城北圏域自殺対策担当者養成研修
11	平成30年3月18日(日)	京都府	ゲートキーパー交流会
12	平成30年3月18日(日)	京都いのちの電話	傾聴講座
13	平成30年3月19日(月)	京都自死・自殺相談センター	聴き方のおけいこ
14	平成30年3月22日(木)	綾部市, 中丹東保健所	こころの健康講演会
15	平成30年3月23日(金)	京都いのちの電話	傾聴講座
16	平成30年3月24日(土)	京都府	ゲートキーパー交流会
17	平成30年3月25日(日)	宇治市	若年層向け自殺防止セミナー

18	平成30年3月25日(日)	京都府臨床心理士会	自殺対策シンポジウム
----	---------------	-----------	------------

<平成29年度実績：京のいのちの日に関連した居場所>

	実施日	主催者	内容
1	平成30年3月1日(木)	こころのカフェきょうと	フリースペース
2	平成30年3月7日(水)	京都自死・自殺相談センター	おでんの会
3	平成30年3月8日(木)	京都自死・自殺相談センター	語りあう会
4	平成30年3月9日(金)	京都自死・自殺相談センター	ごろごろシネマ
5	平成30年3月10日(土)	こころのカフェきょうと	例会
6	平成30年3月13日(火)	向日市	グループワーク「にじ」
7	平成30年3月14日(水)	ほっこりスペース無相堂運営委員会	ほっこりスペース無相堂
8	平成30年3月15日(木)	こころのカフェきょうと	フリースペース
9	平成30年3月18日(日)	リヴオン	大切な人を亡くした若者のつどいば
10	平成30年3月26日(月)	京都自死・自殺相談センター	ごろごろシネマ
11	平成30年3月27日(火)	向日市	グループワーク「にじ」

<平成29年度実績：京のいのちの日に関連した相談会>

	実施日	主催者	内容等
1	平成30年2月20日(火)	京都府	多重債務法律相談
2	平成30年2月27日(火)	京都府	多重債務法律相談
3	平成30年3月4日(日)	京都司法書士会 京都自死・自殺相談センター	こころとくらしの法律相談会
4	平成30年3月4日(日)	京都府	丹後くらしとこころの総合相談会
5	平成30年3月6日(火)	京都府	多重債務法律相談
6	平成30年3月8日(木)	京都府	多重債務法律相談
7	平成30年3月9日(金)	大山崎町	からだとこころの健康相談・栄養相談
8	平成30年3月10日(土)	京都市	きょう ほんと あした くらしとこころの総合相談会
9	平成30年3月14日(水)	京丹後市	臨床心理士によるこころの健康相談
10	平成30年3月22日(木)	京都弁護士会	自殺・自死遺族に関わる無料電話法律相談会
11	平成30年3月23日(金)	京丹後市	臨床心理士によるこころの健康相談
12	平成30年3月27日(火)	京都市	きょう ほんと あした くらしとこころの総合相談会
13	平成30年3月28日(水)	大山崎町	からだとこころの健康相談・栄養相談

<平成29年度実績：テレビ、ラジオによる広報>

	実施日	媒体	放送内容
1	平成29年9月1日(金)	FM京都	自殺予防週間
2	平成28年9月7日(木)	KBS京都(テレビ)	自殺予防週間、ゲートキーパー、居場所

- 府内の相談・支援機関で組織した「京のいのち支え隊」による一斉街頭啓発など、自殺予防週間における集中的な広報啓発活動等を実施した。

<平成29年度実績：自殺予防週間に係る街頭啓発活動>

	実施日	地域	場所
1	平成29年9月8日(金)	京都市	京都市役所前広場 河原町御池付近
2	平成29年9月11日(月)	宇治市	J R・地下鉄六地蔵駅前
3		京田辺市	近鉄新田辺駅前
4		木津川市	アルプラザ 木津店
5		南丹市	J R園部駅前
6		宮津市	宮津シーサイドマートミップル前
7		伊根町	Aコープ いね
8		平成29年9月12日(火)	与謝野町
9	平成29年9月13日(水)	向日市	阪急東向日駅前
10	平成29年9月14日(木)	長岡京市	阪急長岡天神駅前
11		福知山市	イオン福知山店
12		舞鶴市	三ツ丸ストア余内店
13		綾部市	バザールタウン綾部アスパ店
14	平成29年9月15日(金)	大山崎町	阪急大山崎駅前
15		京丹後市	にしがき駅前店
16		京丹後市	にしがき弥栄店
17		京丹後市	Aコープくみはま

<平成29年度実績：「ライフin灯(ライト)きょうと2017」開催>

	実施日	内容
1	平成29年9月8日(金)	○ ろっくんプラザ(京都市中京区)において、こころのカフェきょうと、京都自死・自殺相談センター及び京都市との共催で啓発活動を実施

● 学校における自殺予防を目的とした教育の実施を促進した。

<平成29年度実績：いのちとこころのコミュニケーション事業>

	実施日	団体・機関名	実施校
1	平成29年9月4日(月)	リヴオン	美濃山小学校(八幡市)
2	平成29年9月13日(水)	リヴオン	青葉中学校(舞鶴市)
3	平成29年10月3日(火)	チャイルドライン京都	長岡第四小学校(長岡京市)
4	平成29年10月16日(月)	同志社大学 精神保健福祉総合センター	大江中学校(福知山市)
5	平成29年10月17日(火)	チャイルドライン京都	恭仁小学校(木津川市)
6	平成29年10月26日(木)	チャイルドライン京都	田辺小学校(京田辺市)
7	平成29年11月2日(水)	チャイルドライン京都	西別院小学校(亀岡市)
8	平成29年11月16日(木)	チャイルドライン京都	田辺小学校(京田辺市)
9	平成29年11月21日(火)	京都府臨床心理士会	南加茂台小学校(木津川市)
10	平成29年12月7日(木)	チャイルドライン京都	福知山高等学校附属中学校 (福知山市)
11	平成29年12月12日(火)	山城広域振興局 京都府消費生活安全センター	美濃山小学校(八幡市)
12	平成29年12月19日(火)	チャイルドライン京都	桃園小学校(京田辺市)
13	平成30年2月28日(水)	山城北保健所等	男山第三中学校(八幡市)

(2) 自殺対策関係団体等の活動に対する支援

- 自殺対策に取り組む民間団体等の行う自死遺族のための分かち合いの会、悩みを抱えた方の居場所づくり、電話相談、人材育成等の取組に対する支援を実施した。(重点)

<平成29年度実績：民間団体に対する自殺対策事業費補助金による取組支援>

	団体名	主な取組
1	(社福)京都いのちの電話	・相談員再訓練・調査研究、自殺予防特別研修 ・傾聴体験講座の開催
2	こころのカフェきょうと	・分かち合いの会、遺族交流会の開催 ・自死遺族に対する電話相談
3	(特非)京都自死・自殺相談センター	・自殺のハイリスク者・未遂者を対象とした居場所づくり ・居場所づくりとしての映画の集い
4	ほっこりスペース無相堂運営委員会	・居場所づくり ・こころの病に関する講演会の開催
5	(一財)リヴオン	・自死遺児のための居場所「つどいば」の設置
6	(特非)かわせみ	・中高生を対象にした出前授業の実施
7	京都府臨床心理士会	・こころの健康及び自殺対策に関するシンポジウムの開催

- 自殺対策に取り組む民間団体等の活動内容や運営ノウハウの情報共有、団体相互間の連携、人材養成等を図る支援人材交流会を開催した。

<平成29年度実績：ゲートキーパー交流会>

	開催日	参加者数	備考
1	平成30年3月18日(日)	15人	京のいのち支え隊参画団体5団体との交流、グループワークを実施
2	平成30年3月24日(土)	10人	

2 自殺の背景となる要因の軽減のための取組の推進

(1) 人材養成

- 行政職員や保健福祉関係者、府民の日常生活に密接に関わるサービスを行う事業所関係者など広く府民を対象とするゲートキーパー研修を実施した。(重点)

<平成29年度実績：府内で実施されたゲートキーパー養成研修>

区分	対象者	養成数	備考
一般	地域住民等	1,002人	
行政	市町村職員等	1,015人	
企業・組合	企業従業員、商工会関係者等	594人	
保健福祉	民生委員、ケアマネージャー等	823人	
医療	看護師、薬剤師、医療従事者等	469人	
教育	教職員、学生等	137人	
計	—	4,040人	平成24年度からの累計27,895人

- 学校におけるこころのケアの中心的役割を担うスクールカウンセラーに対する自死遺児の支援のための研修を実施した。(重点)

<平成29年度実績：スクールカウンセラーを対象とする自死遺児ケアのための研修会>

	開催日	参加者数	備考
1	平成30年3月11日(日)	42人	京都府臨床心理士会との連携により開催

- 若者の自殺対策の一環として、大学コンソーシアム京都で「いのちのリレー講座～若者と自殺～」を開催した。

<平成29年度実績：いのちのリレー講座～若者と自殺～>

	講義テーマ	講師(敬称略)※役職は当時
1	自殺の現状～若年層の自殺を中心として～	河瀬雅紀 京都ノートルダム女子大学現代人間学部教授
2	京都府の自殺対策	大辻忍 京都府健康福祉部自殺対策推進担当課長
3	自殺で親を亡くした子どもたちを支える	尾角光美 一般社団法人リヴオン代表理事
4	臨床心理士による自殺対策～学生相談を中心に～	森谷寛之 京都文教大学臨床心理学部教授
5	精神科医療と自殺対策	三木秀樹 医療法人栄仁会理事長
6	司法書士による自殺予防、自死遺族支援の取組み	山口基樹 京都司法書士会会長
7	電話でつながるこころの居場所	鳥井よう子 チャイルドライン京都常任理事
8	企業におけるメンタルヘルス対策	伊佐将人 京都桂病院精神科
9	自殺予防・自死遺族支援に係る宗教者の役割	鍋島直樹 龍谷大学文学部教授
10	自死・自殺に本気で向き合う～悩みを抱えた若者の居場所～	長嶋蓮慧 京都自死・自殺相談センターメール相談委員長
11	自死遺族に寄り添う	石倉紘子 こころのカフェきょうと代表
12	自死に関わる法律上の諸問題と弁護士による支援	小林務 京都弁護士会人権擁護委員会自殺対策部会長
13	自殺予防と心の健康	日高正宏 京都いのちの電話運営委員長・研修委員長
14	ゲートキーパー入門	波床将材 京都市こころの健康増進センター所長
15	自殺について考えよう(グループ討論)	土田英人 京都府精神保健福祉総合センター所長

(2) 職域、学校、地域における体制整備

- 企業等に対し、臨床心理士を派遣してメンタルヘルス対策等の専門的な支援を実施した。

<平成29年度実績：臨床心理士等派遣事業>

	実施日	派遣先団体	参加者数	備考
1	平成29年7月10日(月)	社会福祉法人みねやま福祉会 弥栄はごろも苑	20人	
2	平成29年7月21日(金)	グンゼ株式会社 亀岡工場	30人	
3	平成29年7月27日(木)	山城ヤサカ交通株式会社	12人	
4	平成29年9月4日(月)	社会福祉法人マイクロ福祉会	23人	
5	平成29年9月6日(水)	社会福祉法人丹後大宮福祉会 あゆみがお丘学園	48人	
6	平成29年9月6日(水)	京都弁護士会	11人	
7	平成29年9月20日(水)	京都弁護士会	8人	
8	平成29年10月13日(金)	ジヤトコ株式会社 八木・京都工場	20人	
9	平成29年11月10日(金)	量子科学技術研究開発機構 関西光科学研究所	52人	
10	平成29年11月23日(木)	社会福祉法人青谷学園	47人	
11	平成30年2月19日(月)	京都府理容生活衛生同業組合亀岡支部	28人	
12	平成30年2月20日(火)	精華町教育委員会	28人	

	計		327人	
--	---	--	------	--

3 自殺の原因・背景に対応した支援体制等の整備

(1) 連携体制の整備

- 保健所単位等の地域ごとに、関係機関・団体等との連携を促進し、地域の実情に応じた相談・支援ネットワークを構築する取組を実施した。(重点)

<平成29年度実績：連携ネットワークのある地域>

圏域	名称	備考
京都市	京都市自殺総合対策連絡会	
山城北	山城北自殺対策地域ネットワーク会議	事務局：京都府山城北保健所
山城南	山城南圏域自殺対策ネットワーク会議	事務局：京都府山城南保健所
中丹	中丹G・P ネット連携推進会議	事務局：京都府中丹保健所
丹後	みんなで支えあう丹後こころの支援ネットワーク	事務局：京都府丹後保健所

- 生活困窮者自立支援制度、生活保護制度、雇用支援対策等の支援施策・制度との連携体制を構築する取組を実施した。

<平成29年度実績：自殺対策推進庁内プロジェクトチーム会議>

	日時	場所	概要
1	平成29年11月21日(火)	府庁内職員福利厚生センター	関係施策・制度との連携体制を確認

(2) 自殺発生の危機対応

- 自殺関連専門相談窓口として自殺ストップセンターにおいて、電話、面接及び市町村・自殺対策に取り組む民間団体等との連携対応等により、希死念慮者、自殺企図者等のハイリスク者への支援を実施した。

<平成29年度実績：自殺ストップセンターにおける相談件数>

電話相談	対面相談※	他機関連携	計	備考
1,510件	20件(5)	127件	1,657件	新規相談者数 706人

※対面相談の()書きはいのちのサポートチームとして対応した件数

- 自死遺族が直面する法的な手続き等に対する支援人材を養成するなど、自殺ストップセンターの寄り添い支援機能を強化した。(重点)

<平成29年度実績：自死遺族サポーター養成研修>

	日時	養成数	備考
1	平成29年11月12日(日)	7人	弁護士及び司法書士を対象に実施

- インターネットでの広報を強化し、LINEの無料通話機能を活用した自殺ストップセンターの無料電話相談の利用を促進した。

<平成29年度実績：自殺ストップセンターのLINE無料通話>

登録者数	相談件数	備考
619人	428件	相談件数は、自殺ストップセンターの電話相談件数1,510件の内数

(3) 自殺未遂者に対する支援

- 自殺対策に取り組む民間団体との連携の下に、自殺未遂者等のハイリスク者を対象とした居場所づくりを実施した。

<平成29年度実績：自殺未遂者等のハイリスク者を対象とした居場所>

実施主体	名称	概要	参加者数
(特非) 京都自死・自殺相談センター	Sottoおでんの会	自殺未遂者や死にたいほどの悩みを抱えた方を対象に居場所を設置(全12回開催)	161人
	ごろごろシネマ	死にたい気持ちを抱える人が、映画を見ながららくつろげる居場所を設置(全14回開催)	53人

(4) 自死遺族等に対する支援

- 自殺対策に取り組む民間団体との連携の下に、自死遺族のための分かち合いの会や、悩みを抱えた方の居場所づくり等を実施した。

<平成29年度実績：自死遺族・自死遺児のための居場所>

団体名	主な取組
こころのカフェきょうと	・例会(4月、9月、12月を除く毎月第2土曜日) ・フリースペース(毎月第1、第3木曜日)
(特非) 京都自死・自殺相談センター	・大切な人を自死で亡くした方のための語り合う会(偶数月第2木曜日)
(一財) リヴオン	・大切な人を亡くした若者のつどいば(8回開催)
京都府福祉・援護課	・京風 Café de Monk「きょうのモンク」(自殺対策強化月間中に1回開催)

- 超宗派・超宗教的な立場から心のケアを実践する臨床宗教師を養成する大学と連携し、臨床宗教師が自死遺族のための傾聴活動を行う居場所づくりを行った。(重点)

<平成29年度実績：臨床宗教師による自死遺族のための居場所 京風Café de Monk「きょうのモンク」>

	実施日	場所	備考
1	平成29年10月29日(日)	城陽市 ※台風のため中止	龍谷大学及び府の連携事業として開催
2	平成30年3月4日(日)	与謝野町	

- 自死遺族等の適切な支援につなげるよう、相談・支援窓口に関する情報提供を実施した。(重点)

<平成29年度実績：自死遺族サポーターのチラシの作成・配布>

作成数	備考
5,000枚	府内25警察署、各市町村及び各保健所へ配布

II 京都府自殺対策推進計画に基づく施策の実施状況

1 自殺の問題に関する理解の促進と取組の推進

通し 番号	計画	実施状況
(1) 府民の理解の促進		
○「京都いのちの日」を中心とした自殺の問題に関する理解促進の取組		
1	「京都いのちの日」シンポジウムの開催をはじめとする自殺対策強化月間における集中的な広報啓発活動等を実施し、府民の自殺の問題に関する関心と理解を深めます。	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 第3回京都いのちの日シンポジウムを開催 <ul style="list-style-type: none"> ・開催回数:1回 ・参加者数:170人 ◎ 中丹こころの健康セミナーを開催 <ul style="list-style-type: none"> ・開催回数:1回 ・参加者数:68人
2	府内の相談・支援機関で組織した「京のいのち支え隊」による一斉街頭啓発など、自殺予防週間における集中的な広報啓発活動等を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 自殺予防週間に一斉街頭啓発活動を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・実施箇所数:17箇所 ・実施期間:9月8日～9月15日 ◎ 関係団体等との共催でキャンドルナイト「ライフin灯(ライト)きょうと2017」を開催 <ul style="list-style-type: none"> ・開催回数:1回 ・共催:①こころのカフェきょうと ②京都自死・自殺相談センター ③京都市
3	ホームページ、チラシ、啓発グッズ、ゲートキーパー研修の実施等による広報啓発、相談窓口の周知をあらゆる機会を通じて実施します。	<ul style="list-style-type: none"> ◎ インターネット等で「死にたい」等を検索した方に京都府自殺ストップセンター等の相談窓口の広告を表示 <ul style="list-style-type: none"> ・広告表示回数:約1,787万回 ・広告クリック回数:5万4,930回 ◎ 京都新聞に京都府自殺ストップセンター等の相談窓口の広告を掲載 <ul style="list-style-type: none"> ・掲載回数:1回(平成30年3月26日) ◎ 府内一斉街頭啓発活動(前出)で、相談窓口パンフレット入ポケットティッシュを配付 <ul style="list-style-type: none"> ・配布部数:14,000部 ◎ 京都駅前電光ニュースで京都府自殺ストップセンターの記事掲載 <ul style="list-style-type: none"> ・広報期間:平成29年9月8日～15日 ◎ KBS京都テレビ、エフエム京都の府広報番組で自殺予防週間について広報 <ul style="list-style-type: none"> ・KBS京都:平成29年9月7日 ・エフエム京都:平成29年9月1日 ◎ ホームページによる啓発
4	京のいのち支え隊Facebook、LINE@による若年層向けの情報発信を行います。	◎ Facebook、LINE@により情報を発信
5	地域において保健所、市町村、医療・職域の関係機関等が参画し、地域・職域が連携して保健事業等を行う「地域・職域連携推進会議」における取組テーマとして自殺予防をメンタルヘルス対策に盛り込み、事業所への啓発等の取組を推進します。	◎ 「地域・職域連携推進会議」を各保健所で開催し、働き盛り世代の健康課題と対策について協議

1 自殺の問題に関する理解の促進と取組の推進

通し 番号	計画	実施状況
6	自殺対策に取り組む民間団体等と連携し、自死遺族等の置かれた状況などへの理解促進を図ります。	◎ 関係団体等との共催でキャンドルナイト「ライフin灯(ライト)きょうと2017」を開催 ・開催回数:1回 ・共催:①こころのカフェきょうと ②京都自死・自殺相談センター ③京都市
7	出産直後の育児不安や心身の不調を持つ妊産婦に対するメンタルヘルスケアを提供するための研修会等を実施及びリーフレットを作成します。	◎ エジンバラ産後うつ病質問票(EPDS)等活用に係る研修会を開催 ・開催回数:1回 ・参加者数:48人 ◎ 児童虐待未然防止研修会を開催 ・開催回数:1回 ・参加者数:75人
8	国との連携の下に自殺統計等のデータを活用し、自殺の現状や背景等を分析、情報提供を行い、自殺の実態について府民の理解を促進します。	◎ 自殺統計等のデータを分析し、情報提供
○教育を通じた自殺の問題に関する理解促進の取組		
9	学校における自殺予防を目的とした教育の実施を促進します。	◎ 学校にNPO等の外部講師を派遣し、人との関わり方やいのちの大切さを伝える「いのちとこころのコミュニケーション事業」を実施 ・実施回数:小学校7校10回 中学校4校7回
10	いじめ未然防止・早期解消支援チームを設置するとともに、「心の教育」と「ふるまいの教育」の両面からのアプローチにより、いじめ問題の解消に取り組めます。	◎ 学校におけるいじめ事象の未然防止・早期解消に向けて専門的観点から指導助言による支援を行うため、学校に支援チームを派遣 ・派遣校数:中学校1校 ◎ 法をはじめ、実生活でのルールや決まりについて、自ら考え理解した上で、態度や行動に移せる能力を育成するため、研究指定校を8校指定し、実践研究を推進するとともに、指導案と年間指導計画を作成 ・研究指定校:小学校2校 中学校3校 高等学校3校
11	家庭や地域、民間企業と連携して学校非公式サイトやSNS等の監視を行うなど、いじめ防止の取組を推進するとともに、学校における相談体制の充実など、不登校の児童、生徒等の支援に取り組めます。	◎ 児童生徒や保護者の様々な教育相談に対応するため、24時間電話相談や巡回相談等を実施 ・相談件数:4,479件 ◎ 学校非公式サイト等への書き込みなどネットをめぐるいじめなどへの対応のため民間企業によるネット監視を実施 ・投稿検出件数:6,182件 ◎ スクールカウンセラー(私学)の補助 ・小学校、中学校、高等学校:計42校

1 自殺の問題に関する理解の促進と取組の推進

通し 番号	計画	実施状況
12	青少年の健全な育成に加え、スマートフォン等の新たな携帯型端末やSNSの普及に伴う被害・トラブルから青少年を守り、安心・安全なインターネット活用を図るため、フィルタリングサービスの利用促進や保護者等への最新情報に基づく教育、啓発をはじめとする総合的な取組を進めます。	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 青少年ネット被害相談窓口の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・相談件数:109件 ◎ 「青少年いいねット京(みやこ)フォーラム」を開催 <ul style="list-style-type: none"> ・開催回数:1回 ・参加者数:161人
(2) 自殺対策関係団体等の活動に対する支援		
13	自殺対策に取り組む民間団体等の行う自死遺族のための分かち合いの会や、悩みを抱えた方の居場所づくり等の取組に対する支援を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 民間団体に自殺対策事業補助金を交付 <ul style="list-style-type: none"> ・交付団体数:7団体 ・交付金額:9,989,000円
14	自殺対策に取り組む民間団体等の行う電話相談や人材育成等の取組に対する支援を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 民間団体に自殺対策事業補助金を交付 <ul style="list-style-type: none"> ・交付団体数:7団体 ・交付金額:9,989,000円
15	グリーンケア研修など自殺対策に関する専門的な人材を育成するための研修を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> ◎ ゲートキーパー・ステップアップ研修を開催 <ul style="list-style-type: none"> ・開催回数:2回 ・参加者数:26人 ◎ アルコール関連問題について支援者・家族むけの研修を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・開催回数:1回 ・参加者数46人
16	自殺対策に取り組む民間団体等の活動内容や運営ノウハウの情報共有、団体相互の連携、人材養成等を図る支援人材交流会を開催します。	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 民間団体支援人材交流会を開催 <ul style="list-style-type: none"> ・開催回数:2回 ・参加者数:25人
17	自殺等に関する情報の収集、分析を行い、自殺対策に取り組む民間団体等への情報提供を実施します。	◎ 自殺統計等のデータを分析し、公表
18	鉄軌道事業者が実施するホームドア等転落防止設備に係る整備等の取組に対する支援を実施します。	—

2 自殺の背景となる要因の軽減のための取組の推進

通し番号	計画	実施状況
(1) 人材養成		
○職域及び学校における人材養成		
19	職場のメンタルヘルス対策や働き方の見直しに取り組む管理監督者等に対し具体的な取り組み方等について浸透を図る研修会等を開催します。	—
20	学校におけるこころのケアの中心的役割を担うスクールカウンセラーに対する自死遺児の支援のための研修を実施します。	◎ 学校におけるこころのケアの中心的役割を担うスクールカウンセラーに対する自死遺児の支援のための研修を実施 ・開催回数:1回 ・参加者数:42人
21	悩みを抱えた児童、生徒への気づきや支援など、教員の対応能力を向上させるため、スクールカウンセラー等による研修を推進します。	◎ 学校へ配置されているスクールカウンセラーを講師として校内研修を実施するとともに、府総合教育センターにおいても研修を実施
22	大学との連携により教員・学生等へのゲートキーパー研修を行い、大学の相談・支援体制を強化します。	—
23	大学と連携し、こころの健康スクリーニング等を行い、メンタルヘルスの推進を図りつつ、自死・自殺問題に適切に対応できる人材を養成します。	◎ 大学生向け「こころの体温計」を実施 ・利用件数:61,958件 ◎ 大学コンソーシアム京都において「いのちのリレー講座～若者と自殺」を開講 ・登録者数:18人
○地域における人材養成		
24	行政職員や保健福祉関係者、府民の日常生活に密接に関わるサービスを行う事業所関係者など広く府民を対象とするゲートキーパー研修を実施します。	◎ ゲートキーパー養成研修の実施 ・実施回数:100回 ・養成人数:4,040人
25	地域で精神疾患のある方やその家族からの相談等に対する支援を行うこころの健康推進員を養成します。	◎ こころの健康推進員の養成・現任者研修 ・登録人数:61人 ◎ こころの健康推進員による精神保健福祉活動 ・相談等件数:2,444件
26	自死遺族が直面する法的な手続き等に対する支援人材を養成するなど、自殺ストップセンターの寄り添い支援機能を強化します。	◎ 自死遺族サポーター養成研修を実施 ・実施回数:1回 ・参加者数:7人
27	出産直後の育児不安や心身の不調を持つ妊産婦に対し、個々に応じた支援プランを作成する「産前・産後ケア専門員」や育児・家事支援等を行う「産前・産後訪問支援員」を養成します。	◎ 産前・産後ケア専門員を養成 ・養成人数:41人 ◎ 産前・産後訪問支援員を養成 ・養成人数:67人
○医療等の専門領域に対応した資質の向上		
28	かかりつけ医等がうつ病を早期に発見し、適切な治療に結びつけるため、うつ病対応力向上を図る研修を実施します。	◎ かかりつけ医・産業医うつ病対応力向上研修を実施 ・開催回数:2回 ・参加者数:95人 ◎ 認知行動療法セミナーを実施 ・開催回数:1回 ・参加者数:55人

2 自殺の背景となる要因の軽減のための取組の推進

通し 番号	計画	実施状況
29 (15)	グリーンケア研修など自殺対策に関する専門的な人材を育成するための研修を実施します。【再掲】	<ul style="list-style-type: none"> ◎ ゲートキーパー・ステップアップ研修を開催 <ul style="list-style-type: none"> ・開催回数:2回 ・参加者数:26人 ◎ アルコール関連問題について支援者・家族むけの研修を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・開催回数:1回 ・参加者数46人
30 (14)	自殺対策に取り組む民間団体等の行う電話相談や人材育成等の取組に対する支援を実施します。【再掲】	◎ 民間団体に自殺対策事業補助金を交付 <ul style="list-style-type: none"> ・交付団体数:7団体 ・交付金額:9,989,000円
31 (16)	自殺対策に取り組む民間団体等の活動内容や運営ノウハウの情報共有、団体相互間の連携、人材養成等を図る支援人材交流会を開催します。【再掲】	◎ 民間団体支援人材交流会を開催 <ul style="list-style-type: none"> ・開催回数:2回 ・参加者数:25人
(2) 職域、学校、地域における体制整備		
○職域における体制整備		
32	企業、各種相談機関等に対し、臨床心理士を派遣してメンタルヘルス対策等の専門的な支援を実施します。	◎ 臨床心理士等を企業等に派遣 <ul style="list-style-type: none"> ・派遣回数:12回
33 (19)	職場のメンタルヘルス対策や働き方の見直しに取り組む管理監督者等に対し具体的な取り組み方等について浸透を図る研修会等を開催します。【再掲】	—
34	パワーハラスメントや過重労働などの問題に対応し、自殺予防につなげるため、働く人のメンタルヘルス相談を実施します。	◎ 京都中小企業労働相談所(※)において産業カウンセラーによる相談を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・実施日:毎月第2水曜日 ・相談件数:24件 <small>※H30年4月、京都府労働相談所に名称変更</small>
35 (5)	地域において保健所、市町村、医療・職域の関係機関等が参画し、地域・職域が連携して保健事業等を行う「地域・職域連携推進会議」における取組テーマとして自殺予防をメンタルヘルス対策に盛り込み、事業所への啓発等の取組を推進します。【再掲】	◎ 「地域・職域連携推進会議」を各保健所で開催し、働き盛り世代の健康課題と対策について協議
36	介護保険施設等に対する実地指導項目として自殺予防を位置付け、職員研修等の予防対策を推進します。	◎ 利用者及び職員のメンタルヘルス対策を実地指導時に指導 <ul style="list-style-type: none"> ・介護保険事業所:21事業所 ・福祉事業所:20事業所
37	中小企業等におけるワーク・ライフ・バランスを推進するため、関係機関と連携し、健康で豊かな時間の確保や多様な働き方ができる職場の環境整備に向けた取組を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 従業員300人以下の企業における「女性活躍推進法」に基づく事業主行動計画策定支援 <ul style="list-style-type: none"> ・支援社数:100社 ◎ WLB認証企業数 <ul style="list-style-type: none"> ・認証企業数:50社 ◎ 介護両立出張相談 <ul style="list-style-type: none"> ・相談件数:100件

2 自殺の背景となる要因の軽減のための取組の推進

通し番号	計画	実施状況
38	生活保護受給者や長期離職者等の生活困窮者を対象に、自立相談支援や日常生活改善に向けた取組、一般就労に向けた就労体験、中間的就労の場の提供など「生活・就労一体型支援事業」によって、生活保護受給者等の自立を支援する取組を進めます	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 府保健所の自立相談支援事業 <ul style="list-style-type: none"> ・相談支援者数:112人 ◎ 京都自立就労サポートセンターによる自立支援 <ul style="list-style-type: none"> ・来所者数:2,657人 ・新規登録者数:399人 ◎ 日常生活等自立支援拠点 <ul style="list-style-type: none"> ・通所型:3地域 ・宿泊型:1箇所 ◎ 就労体験事業 <ul style="list-style-type: none"> ・地域数:3地域 ◎ 中間的就労事業所開拓 <ul style="list-style-type: none"> ・23団体
39	京都ジョブパークを中心に、行政、労働者団体、経営者団体等が一体となって、若年者、中高年齢者、子育て中の女性やひとり親家庭の人、障害のある人など幅広い府民を対象とした総合的な就業支援サービスの取組を拡充します。	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 京都ジョブパークにおける就労等相談・支援の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・新規登録者数:19,580人 ・延べ相談者数:139,337人 ・就職内定者数:13,312人
40	特に若者が未来にチャレンジできるように、失業した若者や厳しい環境におかれている若者の安定した雇用確保に向け、京都ジョブパークに併設した「わかものハローワーク」との共同支援を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 京都ジョブパークのカウンセラーとわかものハローワークの就職支援ナビゲーターによる「ペア支援」の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ペア支援修了者数:243人
41	京都ジョブパークとほぼ同じ機能を備えた「北京都ジョブパーク」を中心に、北部地域における就職支援やU・Iターン就職の取組を進めます。	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 北京都ジョブパークにおける就労等相談・支援の実施 ◎ U・I・Jターンコーナーにおける相談・支援の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・新規登録者数:2,915人 ・延べ利用者数:17,337人 ・就職内定者数:1,926人(うちU・I・Jターン155人)
○学校における体制整備		
42	学校におけるこころのケアの中心的役割を担うスクールカウンセラーや、相談室で教育相談や学習支援等を行う心の居場所サポーター、家庭における生活・学習習慣の定着等を支援するまなび・生活アドバイザーを配置します。	<ul style="list-style-type: none"> ◎ スクールカウンセラー <ul style="list-style-type: none"> ・小学校:37校 ・中学校・高等学校:全校 ・特別支援学校:2校 ◎ 心の居場所サポーター <ul style="list-style-type: none"> ・小学校:16校 ・中学校:22校 ◎ まなび・生活アドバイザー <ul style="list-style-type: none"> ・小学校:28校 ・中学校:37校 ・高等学校:5校 ◎ スクールカウンセラー(私学)の補助 <ul style="list-style-type: none"> ・小学校、中学校、高等学校:計42校
43 (9)	学校における自殺予防を目的とした教育の実施を促進します。【再掲】	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 学校にNPO等の外部講師を派遣し、人との関わり方やいのちの大切さを伝える「いのちのこころのコミュニケーション事業」を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・実施回数:小学校7校10回 中学校4校7回

2 自殺の背景となる要因の軽減のための取組の推進

通し番号	計画	実施状況
44 (20)	学校におけるこころのケアの中心的役割を担うスクールカウンセラーに対する自死遺児の支援のための研修を実施します。【再掲】	◎ 学校におけるこころのケアの中心的役割を担うスクールカウンセラーに対する自死遺児の支援のための研修を実施 ・開催回数:1回 ・参加者数:42人
45 (21)	悩みを抱えた児童、生徒への気づきや支援など、教員の対応能力を向上させるため、スクールカウンセラー等による研修を推進します。【再掲】	◎ 学校へ配置されているスクールカウンセラーを講師として校内研修を実施するとともに、府総合教育センターにおいても研修を実施
46 (22)	大学との連携により教員・学生等へのゲートキーパー研修を行い、大学の相談・支援体制を強化します。【再掲】	—
47 (23)	大学と連携し、こころの健康スクリーニング等を行い、メンタルヘルスの推進を図りつつ、自死・自殺問題に適切に対応できる人材を養成します。【再掲】	◎ 大学生向け「こころの体温計」を実施 ・利用件数:61,958件 ◎ 大学コンソーシアム京都において「いのちのリレー講座～若者と自殺」を開講 ・登録者数:18人
48 (10)	いじめ未然防止・早期解消支援チームを設置するとともに、「心の教育」と「ふるまいの教育」の両面からのアプローチにより、いじめ問題の解消に取り組みます。【再掲】	◎ 学校におけるいじめ事象の未然防止・早期解消に向けて専門的観点から指導助言による支援を行うため、学校に支援チームを派遣 ・派遣校数:中学校1校 ◎ 法をはじめ、実生活でのルールや決まりについて、自ら考え理解した上で、態度や行動に移せる能力を育成するため、研究指定校を8校指定し、実践研究を推進するとともに、指導案と年間指導計画を作成 ・研究指定校:小学校2校 中学校3校 高等学校3校
49 (11)	家庭や地域、民間企業と連携して学校非公式サイトやSNS等の監視を行うなど、いじめ防止の取組を推進するとともに、学校における相談体制の充実など、不登校の児童、生徒等の支援に取り組みます。【再掲】	◎ 児童生徒や保護者の様々な教育相談に対応するため、24時間電話相談や巡回相談等を実施 ・相談件数:4,479件 ◎ 学校非公式サイト等への書き込みなどネットをめぐるいじめなどへの対応のため民間企業によるネット監視を実施 ・投稿検出件数:6,182件 ◎ スクールカウンセラー(私学)の補助 ・小学校、中学校、高等学校:計42校

2 自殺の背景となる要因の軽減のための取組の推進

通し番号	計画	実施状況
○地域における体制整備		
50	「京のいのち支え隊」による一斉街頭啓発、くらしとこころの総合相談会の実施及び学校における自殺予防教育の充実に取り組みます。	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 自殺予防週間に一斉街頭啓発活動を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・実施箇所数:17箇所 ・実施期間:9月8日～9月15日 ◎ くらしとこころの総合相談会を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・開催回数:1回 ・相談件数:15件 ◎ 学校にNPO等の外部講師を派遣し、人との関わり方やいのちの大切さを伝える「いのちとこころのコミュニケーション事業」を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・実施回数:小学校7校10回 中学校4校7回
51	身近な地域で心の健康相談等が受けられるよう、精神保健福祉総合センター及び保健所において相談窓口を設置します。	◎ 精神保健福祉総合センター、保健所において、こころの健康相談窓口を設置
52	多重債務に関する相談窓口や多重債務者に対するカウンセリング体制の充実など多重債務対策を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 府内6会場で無料法律相談を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・実施回数:19回 ・相談人数:32人 ◎ 消費生活相談窓口で多重債務関連相談を受付 <ul style="list-style-type: none"> ・相談件数:133件
53	がん健診、集団検診等の機会を活用して行う市町村のうつスクリーニングに対する支援を通じ、適切な医療の受診を促進します。	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 南丹市において睡眠を通じたメンタルヘルス事業(問診・保健事業)を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・受診者:5,159人 ◎ 京丹後市においてうつスクリーニング(問診・面接)を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・実施回数:7回 ・受診者数:623人
54	薬物依存者やその家族からの相談窓口として「きょう一薬物をやめたい人ーのホットライン」を開設し電話相談等を実施します。	◎ 「きょう一薬物をやめたい人ーのホットライン」の運営 <ul style="list-style-type: none"> ・相談件数:12件
55	がん患者の療養生活に係る様々な不安を解消するため、京都府がん総合相談支援センターなどにおいて、必要な情報の提供や、相談支援の充実を図ります。	◎ 通常相談に加え7保健所及び府主催イベント等での出張相談を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・相談件数:1,005件(うち出張相談:159件)
56	府立洛南病院に、精神医療から生活支援までワンストップで支援する「京都府こころのケアセンター」を設置するとともに、病棟再編整備の取組を進め、民間病院では対応が困難な専門医療への対応強化を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ◎ センターの機能強化のため、旧院長公舎を改修し、相談コーナーを設置するとともに、臨床心理士(臨時職員)を採用 ◎ 若年性認知症コーディネータを設置 <ul style="list-style-type: none"> ・電話相談件数:244件
57	難病にかかっても地域で安心して療養生活や社会参加ができるよう、医療費助成制度の円滑な実施をはじめ、難病医療拠点病院や地域基幹病院等の指定など医療提供体制の整備や相談支援の充実等を図ります。	◎ 拠点病院数等 <ul style="list-style-type: none"> ・拠点病院数:1 ・協力病院数:12 ・一時入院事業契約病院数:36

2 自殺の背景となる要因の軽減のための取組の推進

通し 番号	計画	実施状況
58	高齢者が住み慣れた地域において暮らし続けられるよう、市町村と連携して「地域包括支援センター」の機能を充実します。	◎ 介護予防充実費(地域支援事業のうち包括的支援事業・任意事業の府負担分の負担) ・府内全市町村
59	短期入所生活介護、短期入所療養介護など、介護をする家族の負担や疲労の軽減を図るケアを多職種が連携してサポートする体制づくりを支援します。	◎ 多職種連携を支える専門人材を養成 ・医師:84人 ・看護師:61人 ・介護支援専門員:109人
60	犯罪被害者等のための専用相談室等を整備し、プライバシーや心情に配慮した相談対応を行い、精神的な負担を軽減します。	◎ 警察本部と25警察署で整備済
61	平成27年8月に設置した「性暴力被害者ワンストップ相談支援センター」において、性被害に遭われた方の心のケアや診察・証拠保全、法的支援等を関係機関と連携して迅速かつ包括的に行います。	◎ 相談支援を実施 ・相談時間:10:00～22:00(土日祝含む) ・電話相談:1,555件 ・来所相談:135件 ・同行支援:119件 ・公費負担:290件(医療費38件、カウンセリング252件) ・広報啓発、関係機関連携会議の実施
62	「チーム絆」による訪問支援や「職親事業」等によるひきこもり当事者の自立・社会参加促進及び家族の負担軽減を図る取組を推進します。	◎ 脱ひきこもり支援センターを家庭支援総合センター、福知山総合庁舎(北部サテライト)に設置 ◎ ひきこもりの実態把握 ・把握人数:1,134人(うち未支援者数:504人) ◎ ひきこもりにかかる相談・支援 ・相談・支援件数:614件 ◎ ひきこもり支援情報ポータルサイト ・アクセス件数:120,424件 ◎ 民間支援団体による社会参加支援 ・支援件数:14件 ◎ 就労等の自立に向けた職親事業等による支援 ・支援を受けた人数:100人
63	高齢者等の見守り・生活支援を進めるため、ボランティア団体やNPO等が行う高齢者等の訪問見守り活動を支援するとともに、地域の様々な団体が連携・協働した「見守りネットワーク(絆ネット)」の構築を支援します。	◎ 絆ネットワークの構築(13市町) ・平成29年度～:大山崎町 ・平成28年度～:長岡京市、京丹波町 ・平成27年度～:笠置町、京丹後市、京田辺市、与謝野町 ・平成26年:久御山町、八幡市、精華町、宮津市 ・他施策で実施:亀岡市、南丹市
64	身近な地域において、日常的に、悩みを抱えた方等に対する様々な支援等の役割を担う社会福祉協議会や、民生委員・児童委員等と連携強化を進めます。	◎ 市町村社協との連携の下に、ボランティア団体やNPO法人等が実施する訪問見守りボランティア事業 ・実績:25社協管内441事業

2 自殺の背景となる要因の軽減のための取組の推進

通し 番号	計画	実施状況
65	大規模広域災害時等の危機事象における精神科医、臨床心理士等の専門家で構成する緊急チームの派遣や、被害者・被災者のネットワークづくりなど、被害者・被災者支援の取組を総合的に推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ◎ DPAT先遣隊に登録 ◎ DPAT研修及びDPAT先遣隊研修に職員が参加 ◎ 東日本大震災による福島県の被災者(京都府在住)に対し、福島県からの委託を受け、(一社)京都精神保健福祉協会が相談事業を実施
○様々な悩みを和らげる「居場所」づくりの推進		
66	超宗派・超宗教的な立場から心のケアを実践する臨床宗教師を養成する大学と連携し、臨床宗教師が自死遺族のための傾聴活動を行う居場所づくりを行います。	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 臨床宗教師による居場所「きょうのモンク」を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・実施回数:1回 ・参加者数:2人
67 (13)	自殺対策に取り組む民間団体等の行う自死遺族のための分かち合いの会や、悩みを抱えた方の居場所づくり等の取組に対する支援を実施します。【再掲】	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 民間団体に自殺対策事業補助金を交付 <ul style="list-style-type: none"> ・交付団体数:7団体 ・交付金額:9,989,000円
68	ひきこもりに悩む多くの人々が支援情報に触れ、自立への希望や目標を育むことができるよう、インターネットを活用した居場所の提供やサポートができる新しいステージのひきこもり支援事業を展開します。	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 脱ひきこもり支援センターを家庭支援総合センター、福知山総合庁舎(北部サテライト)に設置 ◎ ひきこもりの実態把握 <ul style="list-style-type: none"> ・把握人数:1,134人(うち未支援者数:504人) ◎ ひきこもりにかかる相談・支援 <ul style="list-style-type: none"> ・相談・支援件数:614件 ◎ ひきこもり支援情報ポータルサイト <ul style="list-style-type: none"> ・アクセス件数:120,424件 ◎ 民間支援団体による社会参加支援 <ul style="list-style-type: none"> ・支援件数:14件 ◎ 就労等の自立に向けた職親事業等による支援 <ul style="list-style-type: none"> ・支援を受けた人数:100人
69	フリースクールをはじめとする様々な関係機関と連携して、不登校や家庭の経済的な理由で教育機会が失われている子どもの居場所づくりを推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 適応指導教室の設置、機能拡充やフリースクール等との連携による不登校児童生徒への支援のための仕組みの構築にむけた調査研究を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・実施市町村数:7市町村 ◎ 府認定フリースクールが実施する、学校と連携した教育活動へ助成
70	子どもの貧困対策を総合的に推進し、ひとり親家庭等経済的に困難な家庭の悩みや不安を持つ子どもが気軽に交流できる居場所をNPO、社会福祉法人、自治会等が地域の実情に応じて提供し、子どもの心の安定や学習意欲の向上を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 年間を通じて居場所を開設し、生活習慣及び学習等を支援 <ul style="list-style-type: none"> ・箇所数:17箇所 ・参加世帯数:198世帯 ◎ 夏休み等長期休暇中に、生活習慣及び学習等を支援 <ul style="list-style-type: none"> ・箇所数:8箇所 ・参加世帯数:117世帯

2 自殺の背景となる要因の軽減のための取組の推進

通し 番号	計画	実施状況
71	社会生活・就学等に不安や孤立感を抱える児童養護施設退所児童等に対し、施設と連携しながら相談・支援を行うとともに、気軽に相談できる居場所の設置や、希望する進路が選択できるよう、自立した社会生活に向けて支援します。	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 就労定着支援事業:児童福祉施設7箇所において研修を開催のほか、進路相談及び企業開拓を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・研修開催回数:20回 ◎ 居場所運営事業:年間を通じて居場所を開設し、交流事業等を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・交流事業:12回 ・参加者数:退所者等延べ58人 ◎ シンポジウムの開催 <ul style="list-style-type: none"> ・開催回数:1回 ・参加者数:68人 ◎ 資金貸付事業 <ul style="list-style-type: none"> ・貸付件数:8件
(3) 医療提供体制の整備		
72	心の病気を持った方が、身体の病気を併発し救急対応が必要な場合に、一般救急病院と精神科病院が連携して、円滑に受入医療機関に搬送し、適切な治療が受けられる体制の整備を促進します。	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 救急隊からの一般科救急病院受入 <ul style="list-style-type: none"> ・受入件数:447件 ◎ 一般科救急病院と精神科病院との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・連携件数:16件
73	こころの健康の保持、増進等に取り組む民間団体等との連携により、精神科救急医療に関する電話相談、緊急に医療が必要な場合の基幹病院等への連絡調整等を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 精神科救急情報センターの運営を(一社)京都精神保健福祉協会に委託して実施 <ul style="list-style-type: none"> ・相談件数:3,314件
74	二次医療圏域等におけるかかりつけ医と精神科医の連携に必要な手順等のシステム構築(G-Pネット)による医療連携を促進します。	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 京都府北部精神科救急医療システム連絡調整会議にて「中丹GPネットの取組」を報告
75	救急医療機関、市町村、保健所等の連携により、自殺未遂者に対する支援情報の提供及び相談支援等を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 看護師等を対象とした自殺未遂者包括支援事業研修会を開催 <ul style="list-style-type: none"> ・開催回数:1回 ・参加者数:152人
76 (28)	かかりつけ医等がうつ病を早期に発見し、適切な治療に結びつけるため、うつ病対応力向上を図る研修を実施します。 【再掲】	<ul style="list-style-type: none"> ◎ かかりつけ医・産業医うつ病対応力向上研修を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・開催回数:2回 ・参加者数:95人 ◎ 認知行動療法セミナーを実施 <ul style="list-style-type: none"> ・開催回数:1回 ・参加者数:55人
77 (56)	府立洛南病院に、精神医療から生活支援までワンストップで支援する「こころのケアセンター」を設置するとともに、病棟再編整備の取組を進め、民間病院では対応が困難な専門医療への対応強化を図ります。 【再掲】	<ul style="list-style-type: none"> ◎ センターの機能強化のため、旧院長公舎を改修し、相談コーナーを設置するとともに、臨床心理士(臨時職員)を採用 ◎ 若年性認知症コーディネータを設置 <ul style="list-style-type: none"> ・電話相談件数:244件

3 自殺の原因・背景に対応した支援体制等の整備

通し 番号	計画	実施状況
(1) 連携体制の整備		
○「京のいのち支え隊」のネット枠を活用した支援体制の整備・充実		
78 (50)	「京のいのち支え隊」による一斉街頭啓発、くらしとこころの総合相談会の実施及び学校における自殺予防教育の充実に取り組みます。【再掲】	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 自殺予防週間に一斉街頭啓発活動を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・実施箇所数:17箇所 ・実施期間:9月8日～9月15日 ◎ くらしとこころの総合相談会を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・開催回数:1回 ・相談件数:15件 ◎ 学校にNPO等の外部講師を派遣し、人との関わり方やいのちの大切さを伝える「いのちとこころのコミュニケーション事業」を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・実施回数:小学校7校10回 中学校4校7回
79	自殺ストップセンターと専門職団体等の連携による多重債務、法律、労務等の問題に対する専門相談支援の充実に取り組みます。	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 弁護士、司法書士、社会保険労務士による個別面接等による相談対応を行う「いのちのサポートチーム」による支援を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・支援件数:5件
80	児童虐待について、未然防止から早期発見・早期対応、再発防止まで一貫した取組を進めるとともに、家庭支援総合センターでの複雑困難事例への対応や家庭復帰支援を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 児童虐待相談の受理 <ul style="list-style-type: none"> ・受理件数:1,663件 ◎ 虐待相談に対する一時保護 <ul style="list-style-type: none"> ・保護件数:221件
81	家庭支援総合センターを中心に、府域全体で、ドメスティック・バイオレンス被害者の一時保護や安全な生活を支援するためのサポーターの派遣等を実施するとともに、ドメスティック・バイオレンスの防止に向けた啓発を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ◎ DV相談件数 <ul style="list-style-type: none"> ・相談件数:5,964件(うち府配偶者暴力相談支援センター相談件数:2,527件) ◎ DVによる一時保護 <ul style="list-style-type: none"> ・保護件数:84件
○地域ネットワークの構築		
82	保健所単位等の地域ごとに、関係機関・団体等との連携を促進し、地域の実情に応じた相談・支援ネットワークを構築します。	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 連携ネットワークのある地域 <ul style="list-style-type: none"> ・5医療圏:京都市、山城北、山城南、中丹、丹後) ◎ みんなで支えあう丹後こころの支援ネットワーク開催 ◎ 山城南圏域自殺対策ネットワーク会議の設置
83	市町村と保健所の更なる連携、市町村や自殺対策に取り組む民間団体等が行う自殺対策に対する支援等により地域の支援体制を強化します。	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 市町村及び民間団体に京都府自殺対策事業補助金を交付 <ul style="list-style-type: none"> ・市町村:20市町 ・民間団体数:7団体
84 (16)	自殺対策に取り組む民間団体等の活動内容や運営ノウハウの情報共有、団体相互の連携、人材養成等を図る支援人材交流会を開催します。【再掲】	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 民間団体支援人材交流会を開催 <ul style="list-style-type: none"> ・開催回数:2回 ・参加者数:25人
○様々な支援制度等との連携		
85	生活困窮者自立支援制度、生活保護制度、雇用支援対策等の支援施策・制度との連携体制を構築します。	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 様々な支援制度等との連携体制を構築

3 自殺の原因・背景に対応した支援体制等の整備

通し 番号	計画	実施状況
(2) 自殺発生時の危機対応		
86	自殺関連専門相談窓口として自殺ストップセンターにおいて、電話、面接及び市町村・自殺対策に取り組む民間団体等との連携対応等により、希死念慮者、自殺企図者等のハイリスク者への支援を実施します	◎ 京都府自殺ストップセンターにおいて支援を実施 ・電話相談:1,510件 ・対面相談:20件 ・他機関連携等:127件
87	大学等への広報を強化し、LINEの無料通話機能を活用した自殺ストップセンターの無料電話相談の利用を促進します。	◎ LINE無料通話による相談を実施 ・相談件数:428件 ・累計登録者数:1,220人(H30.3末現在)
88 (79)	自殺ストップセンターと専門職団体等の連携による多重債務、法律、労務等の問題に対する専門相談支援の充実に取り組みます。【再掲】	◎ 弁護士、司法書士、社会保険労務士による個別面接等による相談対応を行う「いのちのサポートチーム」による支援を実施 ・支援件数:5件
89 (26)	自死遺族が直面する法的な手続き等に対する支援人材を養成するなど、自殺ストップセンターの寄り添い支援機能を強化します。【再掲】	◎ 自死遺族サポーター養成研修を実施 ・実施回数:1回 ・参加者数:7人
(3) 自殺未遂者に対する支援		
90 (86)	自殺関連専門相談窓口として自殺ストップセンターにおいて、電話、面接及び市町村・自殺対策に取り組む民間団体等との連携対応等により、希死念慮者、自殺企図者等のハイリスク者への支援を実施します。【再掲】	◎ 京都府自殺ストップセンターにおいて支援を実施 ・電話相談:1,510件 ・対面相談:20件 ・他機関連携等:127件
91 (75)	救急医療機関、市町村、保健所等の連携により、自殺未遂者に対する支援情報の提供及び相談支援等を実施します。【再掲】	◎ 看護師等を対象とした自殺未遂者包括支援事業研修会を開催 ・開催回数:1回 ・参加者数:152人
92 (74)	二次医療圏域等におけるかかりつけ医と精神科医の連携に必要となる手順等のシステム構築(G-Pネット)による医療連携を促進します。【再掲】	◎ 京都府北部精神科救急医療システム連絡調整会議にて「中丹GPネットの取組」を報告
93 (72)	心の病気を持った方が、身体の病気を併発し救急対応が必要な場合に、一般救急病院と精神科病院が連携して、円滑に受入医療機関に搬送し、適切な治療が受けられる体制の整備を促進します。【再掲】	◎ 救急隊からの一般科救急病院受入 ・受入件数:447件 ◎ 一般科救急病院と精神科病院との連携 ・連携件数:16件
94 (13)	自殺対策に取り組む民間団体等を行う自死遺族のための分かち合いの会や、悩みを抱えた方の居場所づくり等の取組に対する支援を実施します。【再掲】	◎ 民間団体に自殺対策事業補助金を交付 ・交付団体数:7団体 ・交付金額:9,989,000円
(4) 自死遺族等に対する支援		
95 (86)	自殺関連専門相談窓口として自殺ストップセンターにおいて、電話、面接及び市町村・自殺対策に取り組む民間団体等との連携対応等により、希死念慮者、自殺企図者等のハイリスク者への支援を実施します。【再掲】	◎ 京都府自殺ストップセンターにおいて支援を実施 ・電話相談:1,510件 ・対面相談:20件 ・他機関連携等:127件

3 自殺の原因・背景に対応した支援体制等の整備

通し 番号	計画	実施状況
96 (75)	救急医療機関、市町村、保健所等の連携により、自殺未遂者に対する支援情報の提供及び相談支援等を実施します。 【再掲】	◎ 看護師等を対象とした自殺未遂者包括支援事業研修会を開催 ・開催回数:1回 ・参加者数:152人
97	警察や医療機関等と連携し、社会的に孤立しがちな自死遺族に対して必要な情報を届けるための仕組みづくりを推進します。	◎ 自死遺族サポーター養成研修を実施 ・実施回数:1回 ・参加者数:7人
98 (26)	自死遺族が直面する法的な手続き等に対する支援人材を養成するなど、自殺ストップセンターの寄り添い支援機能を強化します。 【再掲】	◎ 自死遺族サポーター養成研修を実施 ・実施回数:1回 ・参加者数:7人
99 (20)	学校におけるこころのケアの中心的役割を担うスクールカウンセラーに対する自死遺児の支援のための研修を実施します。 【再掲】	◎ 学校におけるこころのケアの中心的役割を担うスクールカウンセラーに対する自死遺児の支援のための研修を実施 ・開催回数:1回 ・参加者数:42人
100 (6)	自殺対策に取り組む民間団体等と連携し、自死遺族等の置かれた状況などへの理解促進を図ります。 【再掲】	◎ 関係団体等との共催でキャンドルナイト「ライ フin灯(ライト)きょうと2017」を開催 ・開催回数:1回 ・共催:①こころのカフェきょうと ②京都自死・自殺相談センター ③京都市
101 (13)	自殺対策に取り組む民間団体等の行う自死遺族のための分かち合いの会や、悩みを抱えた方の居場所づくり等の取組に対する支援を実施します。 【再掲】	◎ 民間団体に自殺対策事業補助金を交付 ・交付団体数:7団体 ・交付金額:9,989,000円
102 (66)	超宗派・超宗教的な立場から心のケアを実践する臨床宗教師を養成する大学と連携し、臨床宗教師が自死遺族のための傾聴活動を行う居場所づくりを行います。 【再掲】	◎ 臨床宗教師による居場所「きょうのモンク」を実施 ・実施回数:1回 ・参加者数:2人